

# 民藝とモダンデザイン

松本民芸家具にみるデザイン



Photo by ndr

10

2026年06月12日 金 - 07月20日 月祝

STILL LIFE



1926年、柳宗悦らによって提唱された民藝運動は、急速に西洋化へと向かう時代の中で生まれた。「用の美」という思想は、風土から切り離された機械生産や、技巧へと傾倒する工芸に対するひとつの応答であり、日々の暮らしに根差した無名の手仕事の価値を見出そうとする試みだった。

一方、同時代のフランスでは、ル・コルビュジエが「近代建築の五原則」を掲げ、機械技術によってもたらされる新たな美と、開かれた社会の可能性を構想していた。相反するようにも見える民藝とモダニズム。その二つを「デザイン」という視点で結びつけた存在のひとりが、1940年に来日したシャルロット・ペリアンではなかっただろうか。日本各地を巡り、地域に根差した素材や手仕事、そこに宿る風土に価値を見出したペリアンの眼差しは、後に柳宗理へと受け継がれ、戦後日本のインダストリアルデザインにも大きな影響を与えていく。

本展では、「206型チェア(通称 ペリアン)」を手がかりに、松本民芸家具のものづくりの歩みを辿る。民藝とモダンデザインという二つの思想を対照しながら、時代とともに変化してきたデザインの在り方を見つめ直す試みである。

松本民芸家具の創業者・池田三四郎が民藝に見出した未来とは何だったのか。そして、柳宗悦から受け継がれた思想はいかに継承されてきたのか。80年近くにわたり作り続けられてきた家具を通して、松本民芸家具の再発見を試みるとともに、「持続すること」の意味について考えたい。

トークイベント **民藝とモダンデザイン — 松本民芸家具に見るデザイン —**

- ・日程 ; 2026年6月13日(土)
- ・時間 ; 第1部 11:00~ 第2部 15:00~
- ・人数 ; 各回 定員20名
- ・料金 ; 各回 ¥3,000(税込) (1ドリンク付) (学割あり)
- ・来場方法 ; 弊社HPにて事前予約制(下記QRコード、予約サイトよりお進み下さい。)
- ・登壇者 ; 池田 素民 (株式会社松本民芸家具 代表取締役社長)  
戸田 祐希利 (暮らすひとと暮らすところ プロダクトデザイナー)  
中村 源綱 (STILL LIFE)

表面	206型チェア Meribel Chair	松本民芸家具 CHARLOTTE PERRIAND	現行品 1960年代
1	2	3	1 CLASSIC TABLE LAMP LE KLINT 現行品 2 ANKERLINE dutch oven Jens Quistgaard 1954 3 瀬戸飯茶碗 SETO-plain 戸田 祐希利 現行品
4	5	6	4 ROTARY DISPENSER 柳宗理 2020 5 塗椀 YAMA 戸田 祐希利 現行品 6 Secateurs Pruners Wilkinson Sword 1950s

※ 全て販売対象商品です。(一部取り寄せ)

INFORMATION

- ・名称 : 民藝とモダンデザイン 松本民芸家具に見るデザイン
- ・会期 : 2026年6月12日(金) ~ 7月20日(月祝)
- ・時間 : 11:00 ~ 17:00 (期間中 月金定休)

※6月13日(土)はトークイベントのためカフェの営業はありません。

- ・協力 : **松本民芸家具**  
: GALERIE ONE  
: inter office ltd.  
: pyöritä
- ・主催 : STILL LIFE  
: 暮らすひとと暮らすところ



← 展覧会予約サイト <https://www.still-life-nagoya.net/book-online>